

助産薬理学

単位数：1 単位

○直良 浩司：薬剤部長 教授

1. 科目の教育方針

薬理学の基礎（作用機序、代謝経路、半減期等）とともに、妊産褥婦を対象とした和漢薬物の効用、副作用、併用禁忌、拮抗作用、投与方法、服用方法等について解説し、妊婦や授乳婦における薬物使用上の管理および留意点について理解を深める。さらには母体救命救急に使用する薬剤取り扱い上での基礎的知識を修得する。

思春期から更年期までの女性の健康を促進する視点から、経口避妊薬、月経前症候群や更年期女性のマイナートラブルなどに良く使用される和漢薬についての知識を深める。

2. 教育目標

- 1) 薬理学の基礎を学び適正な薬物治療の基本を学習する。
- 2) 妊婦・授乳婦に頻用される薬剤について知識を深める。
- 3) 産婦に頻用される薬剤について知識を深める。
- 4) 妊娠中・授乳中の薬物療法について知識を深める。
- 5) 母体救命救急に使用される薬剤についての基礎的知識を学習する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義によって進める。

【評価】

筆記試験により評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

適時、参考資料を提示する。

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	周産期の薬剤動態：妊婦・胎児の薬剤代謝、薬剤の胎盤移行メカニズム、 妊産褥婦・授乳婦に頻用される薬剤(和漢薬物を含む)についての効用、副作用、併用禁忌、拮抗作用、投与方法、服用方法等	直良
2	薬剤の胎児への影響：催奇形性、先天奇形、胎児毒性・新生児毒性、など 薬剤(ワクチン、放射線)の胎児への影響	直良
3	ワクチン 頻用する薬剤：解熱鎮痛剤、花粉症、便秘など アルコール・喫煙	直良
4	授乳中の薬剤禁忌など 母乳分泌に影響する薬剤・ホルモン製剤	直良
5	妊婦、授乳婦の抗うつ薬、抗てんかん薬などの精神疾患に関する薬剤	直良
6	経口避妊薬、月経前症候群や更年期女性のマイナートラブルなどに良く使用される薬剤 妊婦・産婦・授乳婦に関する薬剤情報の収集方法と読み方	直良
7	漢方	医師
8	帝王切開、麻酔・無痛分娩に使用される薬剤	麻酔科医